

評価シート(令和4年度分)

基本情報

施設名	福岡市立中央児童会館	指定管理者	社会福祉法人 福岡市保育協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	子ども未来局子ども政策部子ども健全育成課

1 業務の履行に関する評価

A～C

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の運営	B	書類の不備等に関する改善指示を行った。
2 施設等の維持管理	A	改善指示・指導の実績なし
3 事業の実施	A	改善指示・指導の実績なし

2 サービスの質に関する評価

A～E

評価項目	評価	評価の理由
1 施設の利用状況 (1) 利用者数 (2) 収入 (3) 特に成果をあげた事項等	C	新型コロナウイルス感染症による制限もあり、目標値の達成には至らなかったものの、安心・安全な環境づくりに努め、利用者数は回復傾向にある。また、アウトリーチ活動を積極的に行うなど、コロナ禍においてもできることを工夫し実践した。
2 事業の実施状況 (1) 指定管理者企画事業の参加者数(達成率) (2) 指定管理者企画事業の参加者満足度 (3) 特に成果をあげた事項等	B	・企画事業は、概ね要求水準に定める実施回数を達成した。 ・アウトリーチ活動を積極的に行い、出前児童館は目標値(100回)を上回る108回を実施した。 ・中高生を対象とした事業の充実を図った。
3 利用者満足度 (1) 利用者アンケートの結果 (2) 利用者からの意見・苦情等への対応	B	・利用者満足度は各年代において高い結果となった。 ・意見や苦情に対しては迅速に対応し、検討が必要なものについては朝礼や職員会議等で共有を図り、改善に努めている。
4 提案の実施状況 (1) 市民の正当かつ公平な利用の確保 (2) 施設管理を的確に遂行するための取組み (3) 施設の効用を十分に発揮させる計画 (4) 管理に要する経費 (5) 市施策への寄与	B	・新型コロナウイルス感染症や天候の影響により実施できなかったものもあるが、全ての項目において提案の大部分が実施されている。

3 経済性・効率性に関する評価

A～C

評価項目	評価	評価の理由
1 収支の実績	C	利用料金収入は予算を上回った一方、光熱水費や人件費等が増加したため、赤字となっている。
2 経費の縮減	B	空室・不在時のこまめな消灯や、書類の印刷を極力減らすなど、職員に定期的に啓発を行い、積極的に経費節減に努めた。

4 その他施設の管理運営にあたり工夫し成果をあげた取組等(加点事項)

・出前児童館の実施回数が開館後初めて100回を超えるなど、館外活動を積極的に実施し、市内全域の子どもたちに遊び、体験、交流の場を提供した。

5 指定管理業務における不適切な行為(減点事項)

指導状況	不適切な行為の内容	改善状況
特になし		

6 市による総合評価

上記1～5を踏まえ、下記の通り評価を行う。

B	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用制限の実施等、通常時とは大きく異なる状況ではあったが、感染症対策を徹底し、利用者の安全・安心の確保を第一に運営を行った。 アウトリーチ活動を積極的に行い、市内全域の子ども育成活動に取り組むとともに、中高生の利用の増加に向けて、中高生を対象とした事業の充実を図るなど、利用者数は増加傾向にある。次年度以降も、さらに広報に力を入れ、多くの乳幼児親子や子どもたちの利用につなげていきたい。
----------	--

【総合評価】 A:非常に優れている B:優れている C:標準 D:少し劣っている E:劣っている

《評価基準・配点割合》

《項目別得点》

1 配点: 30 基準点: 21 最低: 9

A	改善指示・指導の実績無し	10点	27点
B	改善指示(口頭)の実績あり	7点	
C	改善指導(注意)の実績あり	3点	

2 1・2・3

配点: 75 基準点: 45 最低: 15

A	非常に優れている	25点	55点
B	優れている	20点	
C	標準	15点	
D	少し劣っている	10点	
E	非常に劣っている	5点	

2 4

配点: 25 基準点: 15 最低: 5

A	全て実施	25点	20点
B	ほとんど実施	20点	
C	概ね実施	15点	
D	実施が不十分	10点	

3 配点: 20 基準点: 14 最低: 6

A	優れている	10点	10点
B	標準	7点	
C	劣っている	3点	

4

特筆すべき成果1項目につき 10 点加点

評価項目数・・・ 1 項目

10点

5

業務の停止・改善指導等の実績による減点

0点

6 配点: 150 基準点: 95 最低: 35

A	150点以上	全ての項目の評価が「優れている」以上	122点
B	110点 ～ 149点	「A」と「C」の間	
C	81点 ～ 109点	基準点(全ての項目の評価が「標準」)±15%	
D	36点 ～ 80点	「C」と「E」の間	
E	35点以下	全ての項目の評価が「劣っている」以下	